

離婚

事案の概要

40代 男性 会社員

妻が不倫していることを探偵の調査報告書から把握した相談者は、妻の不倫相手からの慰謝料を得たいと考えていました。また妻との関係についても離婚もやむなし、とは考えていたものの気持ちの整理がつかない状態でひとまず事務所に相談にお越し頂きました。

解決結果

妻の不倫相手の車のナンバープレートの番号から、弁護士会照会を申し出て、登録者の住所・氏名を調査しました。そこから住民票・戸籍謄本を取得の上、不倫相手方とおぼしき男性の住所や氏名を確認しました。相手方男性に接触したところ、不倫を認めたことから100万円超の慰謝料を支払ってもらうことで示談しました。

妻との関係においても、修復不可能と判断し、妻からは別途100万円の慰謝料を支払ってもらうこと、他方で子供たちの親権は妻とすることで調停離婚に至りました。

担当弁護士からひとこと

相談者は、相談前の時点で妻から都合良く家を追い出されてしまっており、法的な評価の面でも夫婦関係破綻後の不貞行為という反論をされる余地が出てきそうな事案でした。

最終的には、不貞の落とし前として、200万円を越える慰謝料を得たため、納得できる内容となりました。子供の親権者を妻とすることについて、当初は納得できない思いもありましたが、子供たちの生活を踏まえて、妻に任せることが望ましいという気持ちの整理をつけて、離婚に応じることになりました。